

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 7月 1日 更新

事務事業名	老人憩の家維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	可徳 精至
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進			所属課	高齢者支援課	担当者名	米澤 伸仁
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進			所属班	高齢者保険班	(内線)	2142
予算科目	会計一般	款3	項1	目6	事業連番10437	法令根拠	合志市老人憩の家条例・同施行規則・同運営管理規程 指定管理協定書・		成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<p>○平成6年4月、老人の生きがいと福祉を高め、心身の健全と教養の向上及びレクリエーションのための施設として「老人憩の家」が開館した。</p> <p>○平成18年9月、指定管理者制度による管理運営に移行した。※平成16年地方自治法改正により</p> <p>○平成23年4月、入館(入浴)料金の市内150円を100円に引下げた。※市外は変更なし</p> <p>○老人憩の家の管理運営を指定管理者(社会福祉法人合志市社会福祉協議会)に行わせる。</p> <p>・各年度の指定管理料及び支払方法について年度協定を締結する。</p> <p>・モニタリングの実施(月次業務報告書、年次事業報告書、アンケート結果報告等を受け、管理運営状況を確認する。)</p> <p>・年間修繕額が50万円を超えたとき、指定管理者と費用負担の協議を行う。</p>
【業務の流れ】	<p>【毎年度】○年度協定の締結 ○モニタリングの実施(月次報告書等の確認) ○市が負担する修繕の実施 ○指定管理料の支払(四半期毎)</p> <p>【更新の前年度】○管理方法・募集方法・指定期間の決定(政策推進本部一議会全協説明) ○指定管理者の募集(募集要項と仕様書の作成・配布、募集説明会、申請書審査) ○選定委員会の開催(選考審査、候補者決定) ○議会への提案 ○指定管理者の指定 ○指定管理基本協定の作成・締結</p>
【主な予算費目】	委託料(指定管理料)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<p>指定管理者は公募により選定すべきとの意見がある。</p> <p>非公募の場合は、明確な理由が必要であるとの意見がある。(指針に示す「現在管理している団体の設立経緯や社会的役割を考慮した場合…」を理由に非公募とする場合であっても、今に至ってもなお、他の団体に比べて有利であるとの確認を示すこと。)</p>

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
○年度協定の締結、モニタリングの実施(月次報告書等の確認)、指定管理料の支払(四半期毎)	24年度と同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 指定管理料	千円
→ イ:	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民(利用者)	(単位)
	→ ア: 利用者数
	→ イ: 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
不都合なく安全に利用してもらう	(単位)
	→ ア: 施設・サービス等について満足と答えた割合
	→ イ: %
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
利用者アンケート(施設・サービス利用に対する満足度)の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。全ての利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	22年度	23年度	24年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	千円	13,622	13,622	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
② 対象指標	人	48,586	61,421	49,000	61,797	59,000	59,000	59,000	59,000
③ 成果指標	%	95	97.8	100	97.2	100	100	100	100
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	5	20					
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	18,979	37,088	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	(A) 事業費計	千円	18,984	37,108	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	3	2	3	1	2	2	2
延べ業務時間	時間	270	340	270	30	60	60	60	
(B) 人件費計	千円	1,112	1,372	1,090	122	242	242	242	
トータルコスト(A)+(B)	千円	20,096	38,480	14,090	13,122	13,242	13,242	13,242	

事務事業名	老人憩の家維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 利用者アンケートでは、「施設内外の清掃や施設的美観」の項目において、不満足な点の指摘をいただいている。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 指定管理者においては、不満足と指摘いただいた事項の内容を確認し、適切に対応することとしている。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 指定管理者による従業者への接遇教育や日々の施設・設備点検等により、利用者の満足度を上げることができる。 修繕負担協議額を上げたことにより迅速な対応ができ、利用者の満足度を上げることができる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 指定管理者制度による管理運営以外に手段がない。 ふれあい館と温泉源を共用していることやふれあい館が避難所等になった時の対応などを考慮すると、ふれあい館の指定管理者によるふれあい館との一体的な管理運営が望ましい。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 施設利用料金収入は約6,461千円(対前年比-39千円)と微減しており、指定管理料の削減につながらない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 指定管理者制度を導入しており、直営と比べると業務時間においては削減されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 施設を利用できる者は原則60歳以上の老人に限られるが、老人福祉の向上を目的とする公共施設であることから公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市の所有する老人のための施設であり、指定管理者制度による管理運営が行なわれており適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

施設の設置目的に沿った運営がなされ、良好な運営状況である。レジオネラ属菌の発生など重大な事故もなく、利用者数・利用料金ともに前年とほぼ同じ数値で推移している。
利用者調査(アンケート)の回答数は昨年比-19件であった。相当な数の利用者があっており、より一層多くの回答を得ることができるようアンケートの方法に工夫が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 指定管理者による従業者への接遇教育や日々の施設・設備点検等により、利用者の満足度を上げることができる。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 苦情や指摘・提案事項については、記録する等し、従業者同一の対応で望むように連絡を密にしておかなければならない。																						